

第 58 回中国地区医療社会事業大会 各県報告要旨

1. 目的

わが国では、団塊の世代が 75 歳（後期高齢者）を迎える 2025 年を目途に、要介護状態となっても、住み慣れた地域で人生の最後まで暮らし続けることができることが目的に地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築が進められてきました。こうしたなか、私たち MSW を取り巻く環境も、地域医療構想による機能の分化や統廃合をはじめ、5 疾病 5 事業への対応や在宅医療・介護連携のさらなる充実など、大きく変化をしています。そうした中、本大会では、2025 年度を迎えた今、これまでの地域社会をはじめとする患者・家族と私たち MSW がどのようにかわってきたのか、そして、2025 年度以降どのように変わっていき、そして私たち MSW がどのようにあり続けていく必要があるのかについて考える機会にする。

2. 発表者

各県協会より 1 名を選出。選出者は各協会に一任する。

3. タイムスケジュール

14:10 ~ 14:15	開始、座長趣旨説明
14:15 ~ 14:30	発表① 広島県医療ソーシャルワーカー協会
14:30 ~ 14:35	質疑応答
14:35 ~ 14:50	発表② 山口県医療ソーシャルワーカー協会
14:50 ~ 14:55	質疑応答
14:55 ~ 15:10	発表③ 鳥取県医療ソーシャルワーカー協会
15:10 ~ 15:15	質疑応答
15:15 ~ 15:30	発表④ 岡山県医療ソーシャルワーカー協会
15:30 ~ 15:35	質疑応答
15:35 ~ 15:50	発表⑤ 島根県医療ソーシャルワーカー協会
15:50 ~ 15:55	質疑応答
15:55 ~ 16:10	総括、終了

4. 方法

- ・ 発表時間は一人 15 分、質疑応答は 5 分です。
- ・ 発表内容は、各県協会において以下のテーマに沿った事例をお願いします。

発表者順

- ① 広島県医療ソーシャルワーカー協会 「地域課題（8050、単身世帯など）」
- ② 山口県医療ソーシャルワーカー協会 「住み慣れた地域での生活（在宅生活支援）」
- ③ 鳥取県医療ソーシャルワーカー協会 「退院支援業務の変化（病院統廃合、病床機能編成）」
- ④ 岡山県医療ソーシャルワーカー協会 「ソーシャルワークの価値（社会的孤立 貧困）」
- ⑤ 島根県医療ソーシャルワーカー協会 「地域包括ケアシステム（在宅への医療介護連携）」

- 抄録は別紙抄録用紙をご活用ください。ポイント数は 10.5 でお願いします。（締切期限は 10 月 3 日（金）でお願いします）
- 報告は Microsoft PowerPoint をご活用ください。スライドの作成方法については特に指定しませんが、アニメーションの多用はお控えください。（締切期限は 11 月 5 日（水）でお願いします）

5. その他

- 当日は昼休憩時に座長、助言者と簡単な打ち合わせを予定しています。詳細は追ってご報告致します。
- 個人情報につきましては発表者の責任のもと、お取り扱いに十分にご配慮ください。
- ご不明な点があれば当協会事務局までお問合せください。

以上

第 58 回中国地区医療社会事業大会 各県報告抄録用紙

演 題			
発表者		所属先	
【はじめに】			
【事例概要】			
【結果】			
【考察】			
キーワード	1.	2.	3.